



令和6年2月5日

安全安心だより No.9

～登下校の子どもの安全をみんなで守ろう！～

【不審者について】

今回は、子ども達に不審者について具体的に伝える必要性についてお知らせします。「不審者に気をつけよう！」私達大人は、よく子ども達にこう言いますが、実際、「不審者」ってどんな人ですか？サングラスをかけた人？怪しい雰囲気の人？

犯罪を起こそうとしている人は、周囲に怪しまれないように服装や行動に注意します。

人を見ただけではわかりません。

○不審者のイメージと実際の不審者



私達大人は、以下のように具体的に子ども達に伝える必要があります。

具体的にはどんな人？

- ①住所や名前を聞いてくる人
- ②写真を撮りたがる人
- ③追いかけてくる人
- ④車に乗るように言ってくる人
- ⑤体に触ろうとしてくる人
- ⑥ゲームしよう、おやつあげるよ、などと言ってくる人

不審者に出会わないようにするために

- ①ひとりにならない
- ②歩くことに集中する
- ③止まっている車に近づかない
- ④防犯ブザーを持っておく

もし声をかけられたら？

※自分の身を守るためにも相手の手が届かない「さわられない」「つかまれない」距離感が必要です。距離感とは、店舗内など保てない場所もあり、一概に言えませんが、仮に大人の片腕が1.4m位とすると手が届かない範囲とは、最低でも2m位となります。

- ①できるだけ相手と距離をとる
- ②相手が何を言っても「いや」、「わからない」と言う
- ③防犯ブザーを鳴らす
- ④走って逃げる

○地域の皆様へ

子どもたちが不審者からの被害にあわないためには「ひとりにならないことを徹底」する必要があります。そのためにも、見守りへの協力をお願いしております。

まずは、子ども達への声かけから始めていただき、無理なく、できるときに、できる見守りをお願いします。

